

法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、400字以内で説明しなさい。

- ・傾向犯

II 次の事例における甲と乙の罪責を論じなさい（住居侵入等罪〔刑法 130 条〕及び特別法違反の点は除く。）。

暴力団A組組員甲（男、20歳）は、町を徘徊中、前を通り掛かった洋品店のショーウィンドウに展示されている1万円のネクタイが気に入り、これをどうしても手に入れたと思った。しかし、同店の店長Xは地域の暴力団排除活動の先頭に立っており、買物客が暴力団員であるか否かを口頭で確認し、違うと答えた客にのみ販売するよう、店員に指導していた。また、店の入口には、「暴力団員には販売致しません」という看板を掲げていた。この掲示を見た甲は躊躇したが、身分を胡麻化せば切り抜けられると考えて入店した。そして、先のネクタイを購入したい旨を応対に出た店員Yに告げ、暴力団員か否かを問うて来たYに対して、暴力団に関係したことは一切ないと答えた。Yは、甲の上品な雰囲気も相俟って、甲が暴力団員である筈はないと信じ、ネクタイと引き換えに甲から代金を受け取った。甲は、店内でこのネクタイを締めて店を出た。

同日夕方、この装いで町を歩いていた甲は、A組と対立抗争中の暴力団の組員乙（男、40歳）に出くわし、若い癖に上物のネクタイをして生意気であると言い掛かりを付けられた上、手拳で一発殴られた。そして、なおも殴り掛かられたため、甲は走って逃げ出したが、乙はさらに追って来た。これを見た甲は、近くの百貨店の雑踏に逃げ込むこともできたが、それよりも確実に乙をまこうと、幅員15メートルで交通量の多い車道の横断歩道を、歩行者用信号が赤色を表示しているのを知りながら渡ろうとした。しかし、道を渡り切る前に、走って来た自動車にはねられて重傷を負った。